

令和6年度

外国人

介護人材

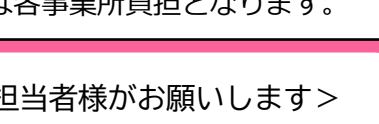
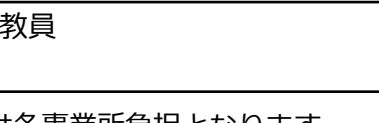
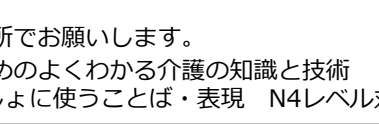
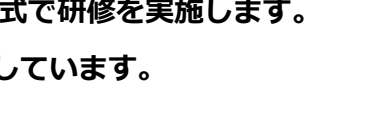
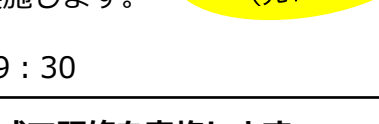
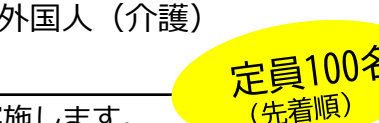
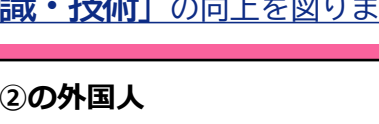
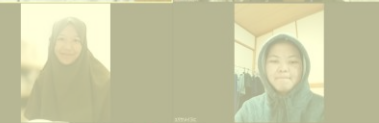
受入支援事業

がいこくじん かいご
外国人介護人材
うけいれ しえん けんしゅう
受入支援研修

HOKUTO AC.

第1回

2023年 11月 2日



外国人技能実習生、特定技能外国人の「介護の日本語」と「介護の知識・技術」の向上を図ります！

対象	道内の介護サービス事業所において勤務する①または②の外国人 ①外国人技能実習生（介護） ②1号特定技能外国人（介護） ※外国人介護福祉士は、受講対象となりません。
開催期間	令和7（2025）年3月までの期間土日祝日以外毎週実施します。 介護と日本の授業を毎週1回ずつ受講となります。 Aコース 17：30～18：30 Bコース 18：30～19：30
研修方法	オンライン形式・対面研修と合わせたハイブリッド形式で研修を実施します。 介護の授業は全12回、日本語の授業は全15回を予定しています。 ※オンライン研修では「ZOOM」を使用します。 ※オンラインシステムの設定、必要となる機材のご準備は各事業所でお願いします。 ※使用テキスト：介護講義→外国人技能実習生（介護職種）のためのよくわかる介護の知識と技術 ：日本語講義→介護の日本語1年生 現場でさいしょに使うことば・表現 N4レベル対応
研修講師	北海道福祉教育専門学校 自立支援介護福祉学科介護教員 日本語教育課程日本語教師
受講料	無料 ※テキスト代及びインターネット接続費用等は各事業所負担となります。

定員100名
(先着順)

お問い合わせ・お申込み先

＜お申込みは、勤務先施設ご担当者様がお願いします＞



学校法人
北斗文化学園

北海道福祉教育専門学校

北海道室蘭市母恋北町1丁目5-11

担当：久保

TEL：0143-22-7711

E-mail：info1@hokuto-bunka.ac.jp

研修内容は…

介護の 技術・知識

介護現場で必要とされる基本レベルに到達するための内容

介護の基本として「介護とは何か」「自立とは」「尊厳とは」、こころとからだのしくみでは「体の構造」「認知症」などを学びます。
また、「自立支援・重度化予防」の介護理論と実践についても随所に盛り込んでいます。

介護の 日本語

日本語能力試験におけるN3レベル相当に到達するための内容

言葉の意味、発音など基本的なことから学び直しをし、JLPT-N3相当まで引き上げることを目標にしています。過去受講施設より「以前より格段に向上した」との高い評価も得ています。
本校は、「日本人から正しい日本語で日本語を学ぶ」ことを大切にしています。

北海道福祉教育専門学校について

本校自立支援介護福祉学科は、自立支援介護の第一人者・竹内孝仁先生を学術顧問にお迎えし、自立支援ヘシフトチェンジを始めた介護保険制度に対応できる介護福祉士を養成しています。学生は日本人だけでなく、ベトナムや台湾などの外国人留学生も多く、日本人学生と共に介護福祉士を目指して学んでいます。2024年1月実施の介護福祉士国家試験では、合格率5年連続100%という結果でした。留学生に対しても、早期から国家試験を意識した授業を展開しています。本研修においても、自立支援介護福祉学科教員が携わりますので、自立支援や介護保険制度、介護福祉士国家試験を意識した研修内容となっております。

日本語教育では、令和2年に法務省告示日本語教育機関（日本語学校）の認可を得ております。法人内に、北斗文化学園日本語教育研究所（所長：中川かず子 北海学園大名誉教授）を設置し、文化庁事業「日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業」も北海道で初めて受託するなど、日本で**トップクラスの日本語教育**をおこなっております。

自立支援介護

留学生
多数在学中！

介護福祉士
国家試験

法務省告示
日本語教育機関

道内初！
文化庁事業受託

受講イメージ

① 介護コース（左オンライン・右対面）



② 日本語コース（左右オンライン）



申し込みの流れ

まずは、お電話・メールにてお気軽にお問い合わせください。

① 受入状況の聞き取り

在籍する技能実習生や特定技能外国人の受入状況をお聞かせください。（日本語や介護のレベル、施設様での困りごと 等）

② 研修参加申込み

必要書類にご記入いただきご提出をお願いいたします。

③ 接続テスト

インターネット環境の確認のため、双方向通信システム「ZOOM」を使用し、接続テストを行います。
この時までには、受講に必要なPC、カメラ、マイク、インターネット回線等を用意してください。（これらは施設様負担）

④ 研修スタート

研修時間中は、必ずしも日本人職員様が付き添う必要はございません。時間中は完全にお任せいただいても構いません。
スムーズに研修開始ができるようインターネットに接続する作業は、施設様のご協力をお願いします。

⑤ 研修修了

受講生には、最終日に初回と修了時の比較するための確認テストを行なっていただきます。
また、施設様には受講にあたってのアンケートのご協力をお願いしています。